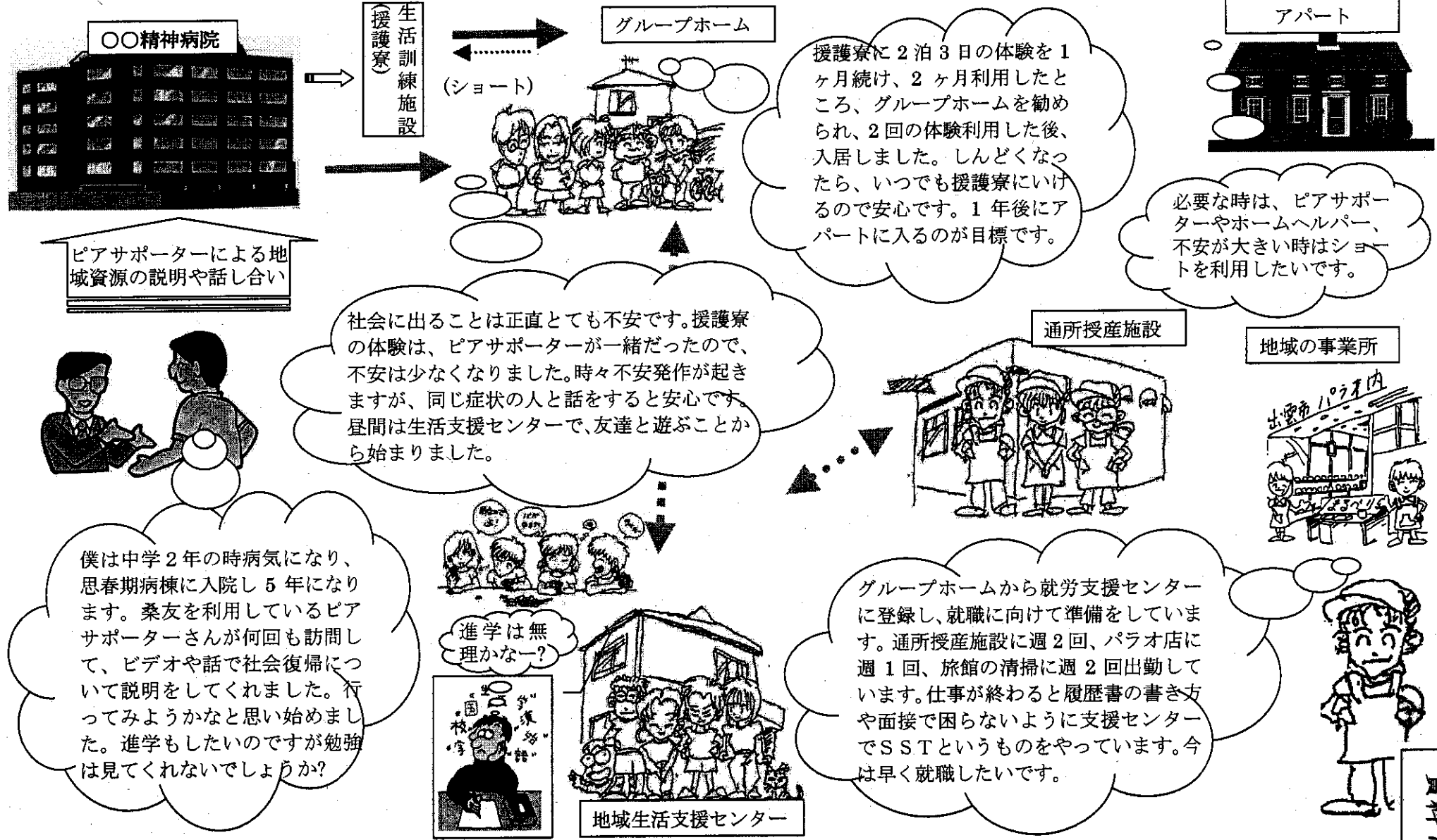


地域生活へのプロセス(退院へのアプローチ)：未成年者



〇〇精神病院

生活訓練施設
(援護寮)

グループホーム

アパート

ピアサポーターによる地域資源の説明や話し合い

社会に出ることは正直とても不安です。援護寮の体験は、ピアサポーターと一緒にだったので、不安は少なくなりました。時々不安発作が起きますが、同じ症状の人と話をすると安心です。昼間は生活支援センターで、友達と遊ぶことから始めました。

援護寮に2泊3日の体験を1ヶ月続け、2ヶ月利用したところ、グループホームを勧められ、2回の体験利用した後、入居しました。しんどくなったら、いつでも援護寮にいけるので安心です。1年後にアパートに入るのが目標です。

必要な時は、ピアサポーターやホームヘルパー、不安が大きい時はショートを利用したいです。

通所授産施設

地域の事業所

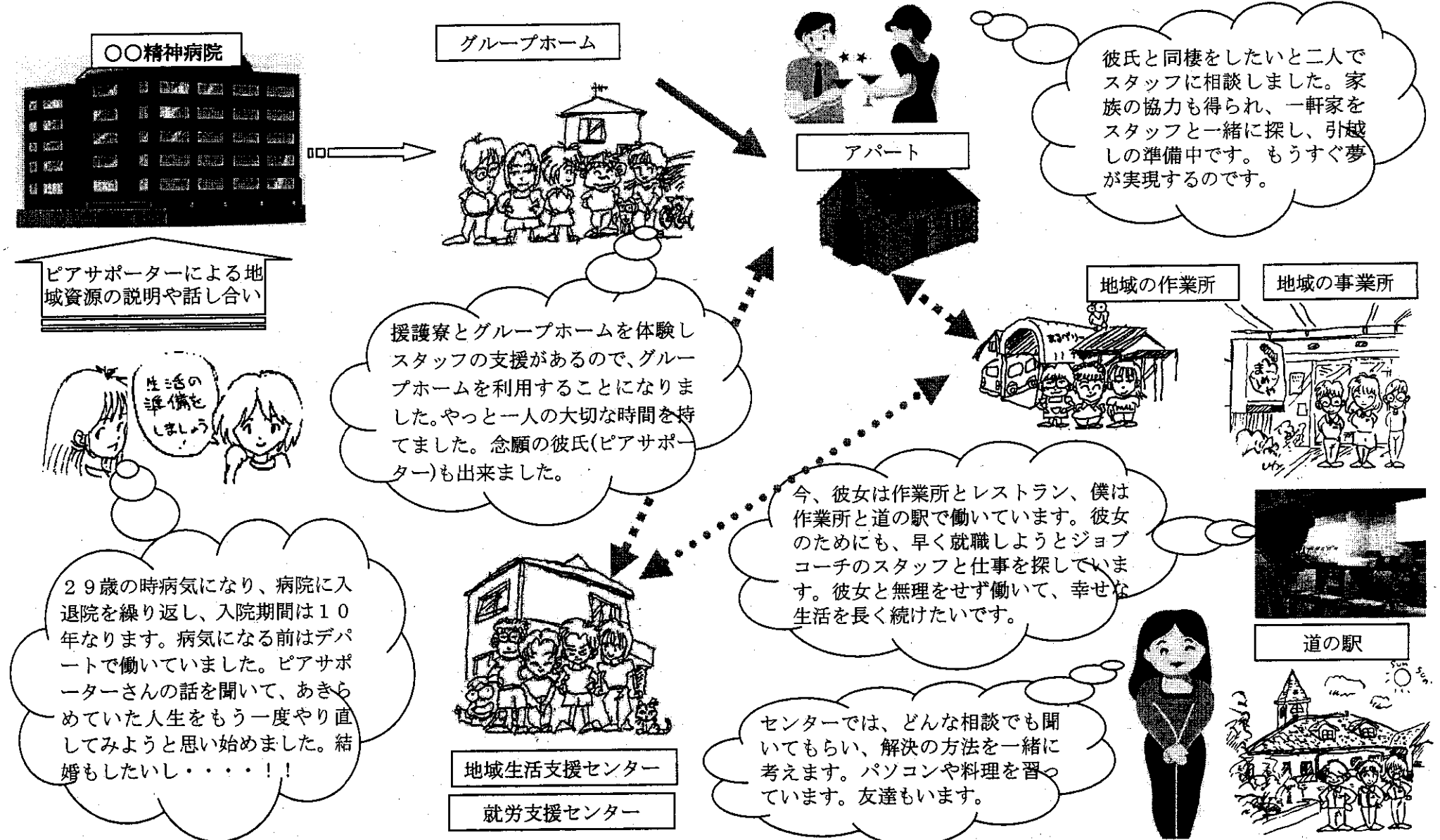
僕は中学2年の時病気になる、思春期病棟に入院し5年になります。桑友を利用しているピアサポーターさんが何回も訪問して、ビデオや話で社会復帰について説明をしてくれました。行ってみようかなと思い始めました。進学もしたいのですが勉強は見てくれないでしょうか？

進学は無理かな？

地域生活支援センター

グループホームから就労支援センターに登録し、就職に向けて準備をしています。通所授産施設に週2回、パラオ店に週1回、旅館の清掃に週2回出勤しています。仕事が終わると履歴書の書き方や面接で困らないように支援センターでSSTというものをやっています。今は早く就職したいです。

地域生活へのプロセス(退院へのアプローチ)：成人(就労希望者)



地域生活へのプロセス(退院へのアプローチ): 成人(高齢者)

